



大分県立竹田高等学校
関東同窓会報
第60号

発行者・会長 菅 博敏
編集者・委員長 衛藤 淳
発行所・関東同窓会事務局
〒194-0013
東京都町田市原町田4-17-20
電話 042-725-5018
<http://kantoutaketa.org/>

令和3年度 総会・懇親会(第35回) 中止に関するお知らせ



竹田高校関東同窓会会長
菅 博敏
(昭40年卒)

関東同窓会会員の皆様方におかれましてはコロナ禍の中において、各種行事・会合の中止、不要不急の外出自粛等不自由な生活を強いられおられることと拝察申し上げます。

関東同窓会も、昨年度の第34回総会・懇親会の中止、修学旅行生との交流会の中止等活動を制限されているところであり

ご承知の通り、新型コロナウイルスの感染状況は増減を繰り返し最近では変異ウイルスによる感染が拡大、ワクチン接種の遅延も重なり終息の見通しが立たず長期戦が予想されます。

令和3年度の総会・懇親会(第35回)開催の可否については、春の役員会・幹事会において検討してまいりましたが、7月の開催時点における感染状況、政府のコロナ対処方針等不確定要因が多く、開催する場合は参加人員制限の方策、会場における3密回避の方策等様々な難しい対応を余儀なくされます。2年連続となり誠に残念ではあります、会員皆様方の安全

を最優先に考え、令和3年度の総会・懇親会は中止することといたしました。

会員の皆様方には、健康にご留意されコロナ禍を乗り越えて、できるだけ早い時期にまたお会いできることを楽しみに、お元氣にお過ごしいただきたいと思っております。

皆様方のご健勝をご祈念申し上げます。



「岡城の桜」
撮影：北條 誠一さん(昭52年卒)

来年こそ
再会
しましょう!



当番幹事代表

志賀 浩明(昭55年卒)

今年の総会・懇親会は当番幹事として昭和45年卒、昭和55年卒、平成2年卒の皆さんが担当し、中止となった昨年の当番幹事(昭45年卒・昭54年卒・平1年卒)の支援を得て準備に取り組みしました。

残念なことに昨年に続き、竹田高校関東同窓会総会・懇親会が中止となりましたが、新型コロナウイルス感染症の終息に見通しが立たない中、やむを得ない判断であると認識しております。

昨年11月に1回目の企画委員会が開催されて以降、開催を前提に企画検討を行ってきました。イベントについては昨年度の当番幹事にご提案いただいた花柳美匠治郎さん(舞踏・ていんかーべの皆さん(アンサンブル))のご出演を予定させていたのですが、実現に至らず、来年こそは3度目の正直となる様、願っております。

今回、企画検討を行うにあたり議論の中心となったのは、来

当番幹事代表



鈴木 智子さん
(平2年卒)



志賀 浩明さん
(昭55年卒)



川口 展弘さん
(昭45年卒)

昨年の当番幹事代表



佐保 哲郎さん
(昭54年卒)

場される方々をいかに安全に迎えられるかという「コロナ対策」でした。これまで普通に行ってきた数百人規模の懇親会もコロナ禍による制約を考慮すると、来場者数・会場設営・食事のセッティングの仕方等、運営方法を大きく見直さざるを得ず、開催することの難しさを痛感いたしました。このコロナ禍が早期に終息し、歴史ある竹田高校関東同窓会がまた健全な状態で開催できることを心から祈りいたします。最後になりますが、企画委員会・昨年度の当番幹事の皆様、企画検討にあたりご協力をいただきありがとうございました。

緒方の町から望む久住連峰が、雪に覆われ青空に浮かびたつ姿には、目を奪われるほどの気高さに感動を覚えます。竹田高校の清楚で気品のある制服や厳しさにも毅然と立ち向かう竹



恩師からの便り

麻生 知孝先生

昭和38年～48年 国語科教諭

高健児のイメージに重なります。今はコロナ禍で関東地方は特に注目され、帰省もままならず、皆様にはさぞ気がかりも多く不自由な毎日をお過ごしのことと、陰ながら案じています。この大分県も、油断はできないが、今のところは穏やかに過ごしています。

私が国語教師として3校目になる竹田高校に赴任したのは、昭和38年です。ほぼ60年ほど昔になります。以後10年間在任して、昭和48年に大分女子高に転勤し、三重高を経て、その後、公立から転職の形で私学の中高一貫の男子校岩田学園に招かれ、平成3年まで勤め、45年間の教員人生を終えました。退職後は看護学校で11年ほど講師を勤め、その間地区の仕事などを果たし、やっと気楽な身となりました。今年6月で満87歳を迎えます。

竹田高校での10年間は、ほぼ昭和の40年代で、私は30歳代でした。当時は団塊の世代に当たり、50余人の10クラス、部活動も、多くの部が実績を挙げ、大いに活発でした。特に剣道部などが当時でも県下に威を示していたのが印象に残っています。私もまだ30歳代前半の若かった時期ですから、軟式野球部(まだ軟式が多かった)の顧問をし、県体で優勝しましたが、今でもその時のナインはよく思い出します。



麻生先生の授業風景

ます。私も暗くなるまでグラウンドでノックバットを振り、左の掌に豆ができ痛さを我慢していました。ソフトボール部の顧問も務め、竹田高校での部活動の楽しい思い出は尽きません。

また、体育祭の思い出としては、盛大なファイヤーストームの校歌や応援歌の大合唱、肩を組んで舞い踊る様は壮観でした。終了前のフォークダンスは全員が一斉に揃ってステップを踏む音が耳に残って、終わりのくもりの寂しい余韻を感じさせました。ファイヤーのあの大量の薪や枝木を生徒会の役員はどのようにして集め積み上げたのか、放課後に下級生を動員したのでしようが、教師は手を出さず自分たちで団結し協力し合い準備をしていたように記憶しています。旧制竹田中学の伝統を受け継い

でいるのがよく表れていました。竹田高校は、各界で著名人を輩出していますが、私が担任として接していた人々も、中央地域で活躍し名を成しているのを見聞きしてさすがだと思っています。皆さんが力量を持っており、その表れの例として、この大分の地でも県教育界の幹部、学校長などが数多くずらりとして、担任を務めた私も誇らしく思っています。

この昭和40年代は、団塊の世代の宿命として特に受験競争が激しく、補習や模擬試験などに追われる生活を強いられていました。そのなかで勉強とクラブ活動を両立させ、しかも学校行事には全力を注ぐ姿、あの強歩大会で気力を尽くして頑張る姿など思い出します。

現在、私は、家に閉じ籠り、毎日の新聞を読み、テレビのニュース番組を録画までして観たり、パソコンで調べものをしたり、時々ギターを弾く、などとボケ防止に努力しています。しかし、実はうつらうつらと居眠りの時間が多いのが正直のところでは。

私は、今になって反省する事があります。それは、古文の授業で、文語文法や古文単語を暗記させ、口語訳をさせることなどに重点を置くような授業で精一杯だったのではないかと振り返っています。単に模試や入



麻生先生の近影

試の点数を上げるための授業であり、面白くなかったと思います。『徒然草』『方丈記』などの古典を教室で読んでいたのに、作者の人間に共感するような授業ができたなら、もっと楽しい教室になり、後の人生に心の糧となる読書へのきっかけになったかもしれない、と教師として未熟な自分を、叱りたいと思います。現代文の授業では、鷗外『舞姫』、漱石『こころ』などを教室で討論し合い、ひとの悲しみや、愛や友情などについて考えを深めるような授業の経験はありました。が、それは本当にまれで、大体は入試に追われる時間を気にして焦る自分をふがいなく思いだされます。

今は、ネット社会で、スピードを求め変化が激しくあわただしい世の中です。ふとした時に自分を見つめる時間ができたら、じつくりと古典や文豪の名作も読んで、不変の真実に触れてほしいと思います。

では皆様のご健康を心からお祈り致します。



母校の話題

目指せ! V字回復!!



竹田高校
校長
西山 和孝 先生

令和2年4月に校長として着任をしました西山です。平成22年・23年度に教頭として勤務した際には、本校同窓会の学校へのお力添えに大変助けられました。創立123年目を迎えた本年度は、コロナ禍の中、何とか教育活動を前に進められました。特に在宅での学習で活用できる学習ソフト購入時の保護者負担に対して、同窓会から補助をいただいたことは、生徒が好きな時間に自分に最適な教材を学習することを可能にし、「伸ばす竹高」を推進することの一助ともなりました。有難うございました。

さて、竹田高校の近況ですが、10年前の教頭時代から大きく変化したと感じていることを紹介します。私が校長として着任した時点で、7年連続で新入生の定員確保が出来ておらず、その影響もあり入学してくる生徒の学力等の幅が大きくなり、

生徒の質が大きく変化しています。その質の変化に対して、充分に対応しきれないない為か、生徒アンケートの学校満足度が、ここ数年かなり落ちています。教頭時代90%を切ることは考えられなかった「竹田高校が好き」と答える生徒の割合が、70%台にまで落ちています。学校に魅力を感じない生徒が増えれば、それは中学生にも伝わり、ますます定員確保が難しい状況が生まれるという「悪循環」に陥り、令和3年度の新入生は、140名(35人×4クラス)の定員に対して111名ということになりました。この割れ方は、本校が県立高校になつてからワーストであり、本校卒業生の皆様には、大変申し訳ない気持ちで一杯です。

竹田高校の株を大暴落させてしまった責任は、全て校長にあります。本校と運命共同体であると言える竹田市の人口の減り方もとても気になる場所ではあります。まずは本校生が皆「元気いっぱい、活気に満ちた高校生活」を送れるような手を打ち、東大や京大といった超難関大への進学、部活動の古豪校復活など「突き抜けた魅力」づ

くりで、地域や中学生にアピールできる様に、学校あげて頑張るV字回復を目指したいと思えます。竹田市や豊肥地区を元気にする為にも、竹田高校は頑張りますので、竹田高校関係同窓

会の皆様方におかれましては、母校の維持・発展のため、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

無限の可能性を秘めた頼もしき後輩たち

教頭 倉原浩二先生(昭56年卒・第33期生)

令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防と生徒の学習権、進路保障の両立という難題に対処することになった。エネルギーを費やした1年となりました。生徒は歓迎遠足の中止や臥牛祭文化の部の一日短縮、体育の部の半日開催など我慢を強いられる生活が続きました。そ

の中で、「山から伐り出されてきたばかりで、枝葉のついた製材される前の木、すなわち、将来何になるかわからない壮大な未来を予感させること」を意味する「朴」が示す通り、純粋素朴な生徒の内面は今も連綿脈々と受け継がれてきています。竹高ではここ4年間、1年生

が地域の抱える課題を小グループで探究し、それらの問題について高校生目線からチームで考え抜いた解決策をフィールドワークでお世話になった地域の有識者の方々に学校で代表班が発表するという「竹田高校コミュニティプランニング」という活動を続けています。今年は首藤勝次竹田市長に講評をお願いしましたが、「高校生の探究活動としては非常にレベルが高い。是非、竹田の魅力の情報発信者になつてもらいたい。」と高く評価していただきました。コロナとの共存の方法も少しずつ明らかになりつつあります。来年度のこの紙面では運動部、文化部で活躍し、躍動する生徒の姿をご紹介したいと思



竹田市歴史資料博物館 由学館 オープニングイベント
書道パフォーマンス【10月】



左: 大分県中央弁論大会 最優秀賞、福沢諭吉記念第59回
全国高等学校弁論大会 大分県知事賞(全国2位相当)
菅 祐斗(2年生)【11月】



右: 県総体 クライミング【7月】



県総体 剣道【7月】

貿易振興への功労

2020年 旭日重光章受章

丸紅名誉理事 辻 亨さん(昭32年卒)

2020年度の叙勲において我が竹田高校関東同窓会からお二人が見事受章される嬉しいニュースがありました。お二方に受章の喜びの声を寄稿していただきました。



このたび、図らずも叙勲を受けることとなりました。長年にわたる貿易振興への功労が評価されたことでした。自身の足どりを振り返ると、丸紅と共にあった人生だったと、改めて実感します。会社には本当にお世話になってきました。

今回の叙勲も、役員・社員の皆様はもとより、お取引先の皆

様など多くの方々からご支援いただいた賜物だと噛みしめています。私個人が受章したのではなく、丸紅全体を評価していただき、それが受章につながったというのが偽らざる実感です。

振り返れば、私が社長の任にあつた1999年度から2002年度の4年間は、丸紅がかつてない厳しい経営環境下に置かれた「受難の時期」でした。1997年、「アジア通貨危機」が発生。その波を受けて、丸紅の業績も悪化しました。一時は史上最大の赤字を計上し、まさに存亡の危機にあつたのです。私が社長に就任したのは、その

振り返れば、私が社長の任にあつた1999年度から2002年度の4年間は、丸紅がかつてない厳しい経営環境下に置かれた「受難の時期」でした。1997年、「アジア通貨危機」が発生。その波を受けて、丸紅の業績も悪化しました。一時は史上最大の赤字を計上し、まさに存亡の危機にあつたのです。私が社長に就任したのは、その

ようなタイミングでした。

しかし、社長在任最終年度の2002年度には、丸紅連結で303億円の純利益を計上できるまでに回復し、「V字回復」への一歩を踏み出せたのです。

回復を実現できたのは、なによりも役員・社員全員の力でした。経営トップである私の呼びかけに皆が応じ、目の色を変えて総力戦を展開してくれたのです。今日の丸紅の業容と比べればささやかな黒字額ですが、業績回復を達成した当時は本当に嬉しかった。今でも昨日の事のように思い出します。

このような会社人生の礎は、故郷の大分県竹田市にあります。昭和20年国民学校1年に入學、竹田高校3年まで私と同級生は、山紫水明の環境に育まれ、素晴らしい恩師に導かれてきました。故郷には、感謝のほかにありません。

最後に、今回の叙勲は身に余る光栄ですが、長年苦勞ばかり掛けてきた家内にも感謝しています。

引き続き家内共々、皆様方の温かいご指導・ご支援をお願いしつつ、皆様のご家族のご健勝とご多幸をお祈りして、御礼の言葉とさせていただきます。



【プロフィール】

丸紅 名誉理事
辻 亨 (1939年2月10日生)

【略歴】

1961年 丸紅飯田(株)入社、紙パルプ部門の要職を歴任
1999年 社長
2003年 会長
2008年 相談役
2012年 名誉理事 現在に至る

役員会報告 (令和3年春)

幹事長 都 俊生(昭44年卒)

総会・懇親会準備活動

前年度の総会・懇親会(第34回)は中止になりましたが、令和3年度第35回こそは開催をとの期待を込めて、鋭意準備が進められました。企画委員会のもとで昭和45年卒、昭和55年卒、平成2年卒の当番幹事の皆さんたちが第34回の当番幹事さん(昭和44年卒、昭和54年卒、平成1年卒)の支援も得て共同して取り組みました。懇親会の出し物については第34回で企画した出し物を第35回で実現する方向で取り組みました。また、経費削減の観点から費用の安い会場の手配に努めました。しかし残念ながらコロナ禍の先行き不透明な中、第35回総会・懇親会は今年3月の役員会で中止を決定しました。

役員任期の1年延長

現役員の任期は令和3年の総会までとなっていますが、コロナ禍の先行きが見えず再度の総会・懇親会中止の可能性もある中で役員交代を行うことは引継ぎ事項等の混乱を生むとの判断から、令和2年10月の役員会で役員任期の1年延長を決定しま

した。現役員の任期は令和4年の総会までとなります。

また、令和3年3月の役員会では現総務委員長の羽田野耕一さんから退任の申し出がありましたので、申し出を受けて後任に総務副委員長の内藤賢一さんをお願いしました。内藤さんの総務委員長としての任期は現役員と同じく令和4年の総会までとなります。

会報誌「臥牛」12月号の発行中止

第34回総会・懇親会が中止となったことから令和2年12月号の主要記事が無くなり、ページ数を減らして発行することも検討しましたが発行費用の大半を占める郵送費用は変わらないことから発行中止を決定しました。なお、昨年春の役員会において、令和3年度から「臥牛」の発行は年1回とすることを決定済みですので、今年から「臥牛」の発行は年1回となります。

リモート会議の実施

同窓会準備活動には顔を合わせての会議が重要ですが、緊急事態宣言が発令される中、新型コロナウイルス感染症防止の観

入田に生まれて

2020年 旭日小綬章受章

公認会計士 伊藤大義さん(昭和40年卒)



叙勲を契機に、竹田高校同級生の関東同窓会会長の菅博敏さんの依頼で本稿を執筆しています。

私は竹田市入田の泉水湧水群近くで、伊藤製材所を営んでいた父春明と母スエ子の5男として1946年(昭和21年)に生まれました。子供の頃は、毎日山でのチャンバラごっこや水の綺麗な川での魚とり等、なにに

自由なく、自由奔放に育ちました。高校時代は、バイク、ビートルズ、コカ・コーラ!!と好きなことだけに熱中した楽しい毎日でした。しかし、勉強は余り、ほとんど?しませんでしたので、大学入試には苦勞し、やっと中央大学に入学し上京しました。大学時代は、少し反省し3年生の春から公認会計士試験の勉強を始め、卒業の年に合格、長兄の「公認会計士伊藤瑛介事務所」に入所、その後監査法人に転籍し、以後約40年間、東証上場企業の会計監査業務に従事しました。

私が今回叙勲の対象となったのは、おそらく日本公認会計士協会の会務運営に1995年か

ら参加したことだと思いが、協会では、理事、常務理事、副会長、綱紀審査会会長を経験しました。

特に1998年から担当した監査担当常務理事は、いわゆる会計ビッグバンの真つただ中で、我が国の経済体制の急激な大改革が行われ、企業の会計基準や監査基準も、グローバルスタンダードと整合性のとれたものとするため大改革が行われました。

会計ビッグバンでは、会計基準や監査基準の新設や見直しを行い、これに合わせて会計士の業務実施の指針となる、監査委員会報告や業種別実務委員会報告(銀行、保険、建設、電力業等)を、従来とは比較にならないスピード感で短期間に大量に(約70本程度)作成・公表し、公認会計士や企業実務家の業務活動のお役に立てたものと考えています。当時公表した基準等で、

現在も企業業績や監査実務に重要な影響を与えるものには、固定資産等の減損会計、繰延税金資産の回収可能性の評価、連結決算の範囲等があります。

60歳で法人退職後は、事務所を鎌倉市由比ガ浜に設立し、現在は、晴れた日は隣町逗子での畑いじりや、上場企業の社外取締役や監査役、財団法人の評議員等、残りの人生を楽しみながら、のんびりとやらせていただいています。

大分県立竹田高等学校関東同窓会

令和2年度 年間予算&年間収支(確定版)

(2021.03.31)

項目	R1年 決算	R2年 確定版	R3年 予算
総会収入 ※1			
総会会費	1,808,000	0	0
総会祝儀	150,000	0	0
売込収入	0	0	0
販売手数料	0	0	0
小計	1,958,000	0	0
総会費用			
ホテル支払	1,837,080	0	0
米費土産/御礼	39,264	0	0
酒持込代	40,706	0	0
本部売店仕入	0	0	0
イベント費	159,160	0	0
記念イベント	0	0	0
会員土産代	0	0	0
DVD諸経費	0	0	0
印刷費	0	0	0
案内状 ※2	139,040	56,000	100,000
通信費	42,152	0	0
備品その他	12,774	0	0
その他諸掛	33,085	0	0
小計	2,303,261	56,000	100,000
総会収支	▲345,261	▲56,000	▲100,000

※1: 総会・懇親会は中止
 ※2: 挨拶状等 印刷/送料等(佐伯印刷)
 ※3: 昨年度: 2900円→今年: 2900円
 ※4: 臥牛第59号、寒中見舞い、予算は1回分
 ※5: 秋の役員会、第2回企画会議
 ※6: 維持会費納入依頼費(注)
 ※7: ドメイン/サーバー費
 ※8: 今年度は返金、次年度は複数年に亘る担当を考慮
 ※9: 予備費→削減(無施行)
 ※10: 事務局/総務関連

注: 今回、維持会費納入依頼書のみ発送の為、封入封緘・宛名印刷、送料を含む。例年は、封入封緘・宛名印刷、送料は臥牛発送費に含んで計上。

項目	R1年 決算	R2年 確定版	R3年 予算
維持会費収入 ※3	1,446,000	1,442,000	1,400,000
経常費用			
会報費 ※4	608,100	431,550	400,000
会議費 ※5	214,244	51,040	100,000
名簿費 ※6	3,500	13,908	4,000
H.P.費 ※7	7,374	6,294	6,400
幹事助成金 ※8	50,000	0	75,000
組織活動費	26,500	0	30,000
慶弔費	0	0	0
寄付金	0	0	0
新規事業 ※9	0	0	0
事務通信費	148,336	48,686	72,000
通信費 ※10	4,407	806	10,000
諸会費 ※11	96,000	0	0
手数料 ※12	45,797	46,230	40,000
荷造運賃 ※13	750	1,110	2,000
事務消耗品 ※14	1,382	540	20,000
母校支援費 ※15	35,734	23,617	50,000
母校120周年事業 (H29)	0	0	0
小計	1,093,788	575,095	737,400
維持会費収支	352,212	866,905	662,600
雑収入 ※16	18	50,518	20
寄付金収入	0	0	0
合計収支	6,969	861,423	562,620
次期繰越金	3,057,287	3,918,710	4,481,330

※11: 他校同窓会は参加見合わせを想定
 ※12: 維持会費振込手数料等
 ※13: 宅配便等
 ※14: 事務局/総務関連
 ※15: 図書寄贈
 ※16: 助成金戻し50,000円、みずほ銀行利息等

維持会員のご協力継続を

点から多人数での会議を避けるため当番幹事会でリモート会議も試行しました。この成功を受けて今年3月には役員協議会をリモートで開催しました。経費削減効果も期待でき今後も活用を検討していきたいと考えています。

さて、多くの会員の皆さんから維持会員としてご協力をいただいています。維持会費収入は減少傾向にあります。この維持会費は、関東同窓会組織運営のほか、会員相互の情報共有のための会報「臥牛」の発行やホームページ、母校への図書寄贈などの支援事業などに利用させていただいています。引き続き、維持会員への登録および維持会費納入にご協力をお願いいたします。

窓生① 同登場

2冊の著作を発表

白坂 亜紀さん(昭60年卒)

この1年、これまでやりたくてもできなかったことに取り組む機会に恵まれて、2冊の本を出版しました。

どちらも共著で、1冊目はケント・ギルバートさんとの『粋で鯉背なニッポン論』(ビジネス社)。

ケントさんはモルモン教の布教のため日本にいらして、その後、弁護士業と並行してタレントとしても活躍され、多くの著書や発言が注目されています。アメリカ人から見た日本人の素晴らしさについてお話ししていただき、私が主宰する「銀座でしこ会」で講演をお願いしたことをきっかけに親



ケント・ギルバートさんと白坂さん



『粋で鯉背なニッポン論』(ビジネス社)



岡野あつこさんと白坂さん



『困難な時代の生き方を語るセ・ラヴィこれこそ人生!』(時事通信社)

しくさせていただいています。この本では、「粋」や「見返りを求めない」日本人の精神性の高さ、そしてそれが夜の銀座で引き継がれていること等々、熱く語り合いました。

もう1冊は、岡野あつこさん(夫婦問題研究家)との『困難な時代の生き方を語るセ・ラヴィ これこそ人生!』(時事通信社)。

岡野さんは夫婦問題カウンセリングの草分け的存在です。ご自身も離婚を経験したことから、このお仕事に始めたのですが、とにかく波瀾万丈な人生、そしてバイタリティに溢れています。対談は彼女のパワーに圧倒されました。

2020年はオリンピッククイヤーということで日本中活気あふれるはずでしたが…。新型コロナウイルス流行という、思いがけない苦難に見舞われてしまいました。これまでも、バブル崩壊、リーマンショックなどの金融危機、また東日本大震災などの自然災害を経験して参りましたが、それを上回る大きな出来事です。銀座で独立して25年、何とか店の経営も安定し、頼りになるスタッフも大勢育って、学生時代から34年間の仕事の集大成となるはずでしたが、人生は何が起きるかわかりません。コロナがいつまで続くのか、銀座はどんなことになるのか、絶望の淵に立たされました。でも、いつまでもクヨクヨしてはいられません。日本の女性を象徴する「なでしこ」には可憐、清楚の他に、勇氣、情熱という花言葉があります。苦境の時こそ、日本女性の「なでしこ力」で日本を元気にしたい!銀座の灯を守りたい!そんな思いで日々を過ごしています。

そして、コロナ禍で、人々との繋がりの大切さを改めて感じています。家族との絆、何があってもお互い助け合える仲間たちは、かけがえのない宝物です。どんな苦難に遭っても、希望をもって前向きに明るく、皆で力を合わせて立ち向かって参りましょう!

大志文庫 第7回 図書寄贈リスト

図書名	著者	推薦者(卒業年)
1 独学大全	読書猿	衛藤 淳 (S52)
2 家康、江戸を建てる	門井慶喜	内藤賢一 (S52)
3 すごい宇宙講義	多田将	
4 外套・鼻	ゴーゴリ	浜野ゆかり (S52)
5 ライ麦畑でつかまえて	J・D・サリンジャー/著 野崎孝/訳	
6 アルケミスト	パウロ・コエーリョ/著 山川敏矢・亜希子/訳	
7 戦争といのちと聖路加病院ものがたり	日野原重明	後藤章仁 (S52)
8 対訳 英語で読もう「星の王子さま」	アントワヌ・ド・サン＝テグジュペリ/原作	
9 フィンランド人はなぜ午後4時に仕事が終わるのか	堀内都喜子	
10 働く君に伝えたい「お金」の教養	出口治明	
11 道德感情論 上	アダム・スミス	
12 ” 下	アダム・スミス	
13 完訳 統治二論	ジョン・ロック	
14 若い読者のための『種の起源』	チャールズ・ダーウィン	
15 教養としての投資	奥野一成	
16 現代語訳 論語と算盤	渋沢栄一/著 守屋淳/訳	

大志文庫

第7回目 寄贈報告

「大志文庫」も今年で7回目の図書寄贈となりました。今回の寄贈図書は左表のような内容となりました。

大志文庫として寄贈した図書は累計で137冊となりました。1回につき20冊前後を目安として行ってきましたが、塵も積もれば…というわけで、それなりのボリューム感も出てきました。

今後の課題としては、量より質を工夫したものにしていきたいと考えています。質として考慮すべきポイントは、高校生に読んでほしいもの、ただでな

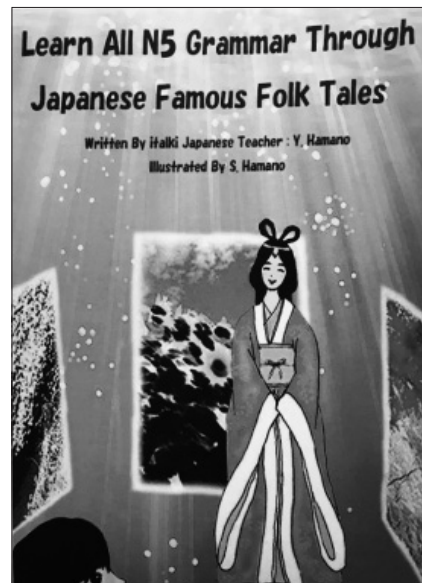
く、「高校生に読まれやすいもの」と考えています。

良書であっても、手に取ってもらえなければ、絵に描いた餅になってしまいます。読書好きの生徒に読まれるような一定のレベルの高さを持ったものでなく、今どきの高校生の興味を引きそうな面白そうなものも必要です。そのためには、大志文庫への高校生の声のフィードバックも必要です。

今後、竹田高校の先生や図書館司書の先生の声もいただきながら改善を図っていくと考えっております。皆さんのご推薦やご意見もお待ちしております。(図書推薦やご意見は8ページ下の『臥牛』編集担当までお寄せください)

同窓生 登場②

日本語教師として参考書を出版 浜野 ゆかりさん (昭52年卒)



『Learn all N5 grammar through Japanese famous folk tales』
アマゾンでのみ販売しており、印刷版と電子書籍版の2種類があります。

皆さんは、日本語が上手い外国人と聞いて誰を思い浮かべるでしょうか？アメリカ人のデーブ・スペクターでしょうか？私の日本語の生徒さんには、デーブ・スペクターに劣らないほど日本語が上手な人が2人います。しかも彼等は日本に住んだことが1年ぐらいいかないのです。

私は、2018年の2月から、香港にある語学サービス会社のオンライン日本語教師として働いています。2020年の10月までで、延べ3,000回、世界25カ国ぐらいいの方に、スカイプでレッスンを提供してきました。

いわゆる日本語教師の資格を持っていないので、国内の日本語学校で教えることは

難しいのですが、私は英語で日本語を教えているので、日本語を日本語で教えることを基本としている国内の学校には興味がありません。

この仕事を始めるきっかけは、2017年に、イギリス人のペンパルから日本語を教えてくれないかと頼まれて、ボランティアで始めたところ、私の文法の説明が、彼が通っていた日本語教室の先生よりも上手だと褒められたことから始まりました。

私は、昭和52年に竹田高校を卒業し、上智大学文学部新聞学科に入り、大学卒業直後、一念発起して英会話を習得すべく、東京の目黒区でイギリス人宅の住み込みのベビーシッターを1年間しました。この1年間は、竹田高校時代の受験勉強より苦

しかった。イギリス英語の発音ができただけで、その後直ぐに、国際協力事業団(JICA)の通訳・翻訳の仕事を得て、NTT本社の国際局研修担当に派遣されました。ここで、電気通信、つまりテレコミュニケーション分野の英語を見たことで私の英語人生は大きく変わったと思います。受験英語と違い、その論理的な英語は、まさにビュートイフル！だったんです。

日本語は発音は簡単なのですが、文法が難しい言語です。逆に、英語は、文法は世界の言語の中では簡単な方ですが、発音が難しい言語です。アメリカの軍隊では、世界の主な言語を難易度で5段階に分けていますが、日本語は、1番難しいグループに入るそうです。「日本語は習得がメチャメチャ難しい」。これは世界の常識ですが、だからこそ、これをペラペラ喋れるのはカッコイイ！と日本語学習者は、後を立ちません。

2020年度は、コロナで日本への旅行を生徒さん達は断念しなければなりませんでしたが、その前の年は、オーストラリア、アメリカ、イスラエル、イス、スペイン等から生徒さんが湯河原町のわが家を訪ねて来てくれました。

日本語の教科書や問題集はたくさん出版されていますが、いわゆる参考書がないので、20

20年の4月に、アマゾンから自費出版しました。英語で書きましたが、アメリカ人に添削をしてもらい、完ぺきな英語になっていますから、皆さんの英語学習にも役立つ本です。ぜひ、買ってみてください。アマゾンで、Learn all N5 grammar through Japanese famous folk talesを探せます。N5というのは、日本語能力試験5級のことです。英検5級みたいなものです。

最後に、今、竹田高校の生徒さんで日本語教師に興味のある人がいたら、私のアドバイスは、

「古文をしっかり勉強しろ！」です。日本語を外国語として勉強した経験が、日本語教師のセンスと関係すると感じます。将来、安定的に日本語教師だけでは、大学院まで進む必要がある場合は、大学院まで進む必要があります。できれば、その間、留学して外国語を1つ習得して、外国語で文法を説明できるようにすることです。そして、日本国内、あるいは海外の大学で教える道を志すことです。誰でもなれるなどと言う甘い言葉に騙されないように。



2019年には世界各地の生徒さんたちが日本を訪ねてきてくれました。



学年幹事一覧

卒業年次	氏 名	
昭和26卒	濱口 鈴子	
昭和27卒	津田 美枝	
昭和28卒	益永 三生	
昭和30卒	用正 靖彦	
昭和31卒	河野 智治	高橋 房枝
昭和32卒	高橋 勝和	藤原 保範
昭和33卒	土屋 健児	
昭和34卒	服部 恭一	市村 真一
昭和35卒	平手 肇	
昭和36卒	吉村征二郎	
昭和37卒	桃溪謙次郎	
昭和38卒	続 勝三郎	
昭和39卒	安藤 紀	
昭和40卒	田部 厚	大坂 好美
昭和41卒	中神 章彦	後藤 章一
昭和42卒	堀 正孝	後藤十四生
昭和43卒	甲斐 文夫	工藤 和博
昭和44卒	伊東 忠明	高橋 博子
昭和45卒	川口 弘展	原田 健治
昭和46卒	日高 慶記	保坂 斎子
昭和47卒	柚須 潔	後藤 和典
昭和48卒	戸次 幸二	山村恵美子
昭和49卒	村上 泰子	田北 豊明
昭和50卒	安藤 京子	羽田野久仁子
昭和51卒	飯田 良典	鈴木 敬子
昭和52卒	内藤 賢一	後藤 章仁
昭和53卒	宮木 勢	渡辺 隆
昭和54卒	佐保 哲郎	
昭和55卒	垣内富貴代	
昭和56卒	武内 宏文	岩野 香織
昭和57卒	佐藤 孝一	阿南 寛
昭和58卒	森 純洋	柳川美砂江
昭和59卒	衛藤 寛	大石 美紀
昭和60卒	川島 秀夫	米野 良恵
昭和62卒	竹下 賢仁	戸林 知輝
昭和63卒	川辺 浩克	肥田 雅子
平成11卒	山口 慶明	井筒 剛司
平成13卒	工藤 一瀬	山口 明

(令和3年3月)

学年幹事を通じて 同窓生を 糾合しましょう!



組織委員長 高橋 敏政 (昭46年卒)
連絡先 090-5173-3020

いつも同窓会の活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。組織委員会では会員情報の管理と合わせて会員の掌握に努めています。皆さんの周りに、関東地域で新たにキャッチした同窓生の情報がありましたらぜひひかに情報提供をお願いします。

ご担当いただいている学年幹事さんの一覧を掲載します。ご覧のように学年幹事さん不在の期があります。同級生だけでなく、年齢に関係なく同窓生がいたら、ぜひお声をかけていただき、こうした学年幹事が充実するようにご協力をお願いします。



訃報

慎んでお知らせ申し上げ、心からご冥福をお祈りいたします。

物故者御芳名 ※順不同

2021年4月5日現在 (2021年4月4日まで)

佐藤チエミ様 (昭13年卒)

日下部百合子様 (昭35年卒)

家原 和雄様 (昭23年卒)

三枝琉実子様 (昭36年卒)

堀 健一様 (昭20年前卒)

安藤 哲様 (昭26年卒)

盛 哲男様 (昭30年卒)

上寺 誠治様 (昭37年卒)

徳丸 達男様 (昭25年卒)

進 次也様 (昭37年卒)

清水 康男様 (昭31年卒)

中村シゲ子様 (昭28年卒)

後藤 安雄様 (昭44年卒)

倉原 佳子様 (昭53年卒)

※事務局へ連絡をいただいた方々を掲載させていただきました。

新任役員紹介

(令和3年4月1日付)



総務委員長
内藤 賢一さん
(昭52年卒)

第32回同窓会懇親会(2018年)で当番幹事を務めてより役員の方々と親しくお話しする機会も多くなっていました。が、いつの間にか役員の末席でお手伝いをさせていただくようになり、この度羽田野総務委員長の後を引き継ぐことになりました。微力ですが諸先輩のご指導の下、真摯に取り組んでまいります。

プロフィール

出身地…竹田市内

出身中学…大分市立王子中学校

趣味…皮革工芸・靴作り

連絡先

〒181-0003

東京都三鷹市北野2-3-22

(広報委員長) 衛藤 淳 宛

TEL 090-9159-7231

FAX 0422-43-7762

mail to : etoj@hotmail.com